

アドミッションポリシー

長崎外国語大学の教育理念・目標

本学の教育目標は「語学力」「コミュニケーション力」「人間力」をそなえ、自己と他者との対話と相互理解を通して共通の目標を実現できる人材を育成することです。

ことばは、単なる会話の道具ではなく、文化であり、人間そのものです。その意味で、外国語学習とは自己と他者の発見と言い換えてもよいでしょう。自分を知り、相手を知ることが、自分と相手との違いや隔たりを知り、お互いを理解することにつながります。そして「人間力」とは、そのような真のコミュニケーションを通して他者や外国の人々と協力して共通の目標を実現する力です。そのような人材の育成を目指しています。

本学では、教育目標を実現するために、次のような人材を求めています。

1. グローバル化する社会において、外国語と異文化に強い関心を持っている人
2. 外国語による幅広いコミュニケーション力を身につけたい人
3. 広い視野と多角的な視点に立った総合的な人間力を身につけたい人

入学者選抜の基本方針

高等学校までに培った基礎学力に加え、協調性、主体性、探究心、表現力、学ぶ意欲、リーダーシップ、論理的思考力や理解力などをそなえた学生を多様な選抜制度によって受け入れています。

【一般入試（A日程・B日程）】

「英語」「国語」「地歴・公民」の中から、2科目あるいは3科目を受験してもらい（「英語」は必須）、基礎的な学力、論理的思考力を評価します。

【スカラシップ入試】

本学の教育理念・目標を理解し、本学で学びたいという情熱と意欲があり、学力・人物ともに優れた人を経済的に支援します。

「英語」「国語」「地歴・公民」の中から、2科目あるいは3科目を受験してもらい（「英語」は必須）、基礎的な学力、論理的思考力を評価します。

【大学入試センター試験利用入試】

大学入試センター試験は「大学に入学を志願する者の高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的とするもの」とされています。より広範な科目のある大学入試センター試験の中から、2科目を受験してもらい（「外国語」は必須）、基礎的な学力、論理的思考力を評価します。

【推薦入試】

指定校制・一般公募制・専門高校推薦入試は、高等学校が勉学態度と意欲の面からみて、大学で学ぶ能力を有すると認めた人を対象とし、自己推薦入試は、受験生がこれまでに身につけた多様な能力を自ら客観的に分析し、表現できる人を対象としています。

指定校制は小論文を、また一般公募制、専門高校は課題作文を筆記試験として課し、設問に対して論理的にもの考える力や理解する力などを評価します。

面接試験では、これまでどのような活動をしてきたのか、今後どのようなことをしたいと考えているのか、そして本学進学への目的意識などを評価します。特に自己推薦入試では、他の推薦入試に比べ長めの面接時間を設定し、責任を持って自らをアピールできるかなどを評価します。

【AO入試】

ペーパーテストによって学力を測る他の入試制度と異なり、受験生がこれまでに身につけた多様な能力を、さらには将来の可能性まで含めて、多面的・総合的に評価します。

エントリーシート、作文および面談において、学業あるいは学業以外におけるこれまでの活動について、また将来の目標、そして本学進学への目的意識などを評価します。

【特別入試（社会人・海外帰国生徒）】

筆記試験として小論文を課し、設問に対して論理的にものを考える力や理解する力などを評価します。

面接試験では、これまでの経験をふまえ、今後どのような目標を定めているか、そして本学進学への目的意識を評価します。